

市会報告

平成29年第1回定例会市会が開かれ、平成29年度神戸市当初予算案及び関連議案が審議されました。本会議において、守屋隆司議員（兵庫区）、山下てんせい議員（西区）、五島大亮議員（北区）が自由民主党神戸市会議員団を代表し、市長及び関係当局に質疑を行ないました。また、坊池 正議員（西区）が総括質疑を行ないました。それぞれの質問項目は下記の通りです。



代表質問

2月23日
兵庫区選出
守屋隆司
議員

- 三宮再整備における公共施設のあり方
- 少子化対策
- 中小企業対策
- 高齢者対策
- 神戸における海洋政策の方向性
- 小中学校の統合



代表質問

2月23日
西区選出
山下てんせい
議員

- 神戸のクリエイター支援
- 空き空間活用の推進方針
- 神戸港開港150年記念事業
- 食都神戸の展開
- 新都市整備の方向性



代表質問

2月23日
北区選出
五島大亮
議員

- 若者に選ばれるまち
 - ・保育料などの料金体系
 - ・人口減少対策
 - ・移住の促進
- DMOについて
- 国際コンテナ戦略港湾
- 医療ツーリズム
- 今後の社会保障費
 - ・国民健康保険・生活保護



総括質疑

3月13日
西区選出
坊池 正
議員

- 危機管理と災害対応力の強化
- 子育て・教育環境の充実
- 企業誘致
- 西区庁舎整備
- 農村地域への定住・移住の促進
- 補助金事業

意見表明（抜粋）

平成29年度神戸市各会計予算案について、要望を付して承認しました。

平成29年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計59議案について、以下の理由により、要望22件を付して承認します。

理由

平成29年度予算案は、阪神・淡路大震災からの着実な復興を遂げ、これまで取り組むことができなかったプロジェクトに着手し、神戸の新たな未来を切り拓く施策を積極的に展開するものとなっています。これは、本市の課題である人口減少を克服するための子育て・教育環境の充実に重点をおきつつ、神戸経済の活性化のための雇用の創出や、福祉・医療・防災などの充実、都心再整備などまちの魅力や環境への取り組みが計上されているものであり評価します。

また、これまでの行財政改革により、財政健全化指標は着実に改善しているものの、少子超高齢化の進展に伴う社会保障費の増大は避けられず、市税収入の伸び率が極めて低い水準であるなど、財政基盤はいまだ脆弱であります。

よって、引き続き「神戸市行財政改革2020」の目標の達成に向けて、全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築していくことを期待するとともに、この度の補助金問題に鑑み、適正な予算執行を前提として、平成29年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

要望事項（抜粋）

- 若者に選ばれるまちを実現するため、保育料の軽減や待機児童の解消などの子育て支援施策をさらに充実すること。特に、保育料の料金体系については、所得に応じたカーブを描くなど、不公平感を軽減するように努めること。
 - 神戸空港コンセッションについては着実に手続きを進め、発着回数や運用時間の規制緩和および将来の国際定期便発着を可能とするように努めること。
 - 三宮再整備においては、公共施設を有効活用して、神戸の顔にふさわしいシンボリックな拠点となるよう努めること。
 - 国際港としての立地を生かして、海洋に関する新たな戦略産業の振興に挑戦すること。
 - メディカルツーリズムの推進については、海外患者ワンストップ窓口の取り組みを契機として、より一層の充実を図ること。
 - （仮称）神戸DMOについては、独自財源を持つ官民一体の組織づくりを行うなど、神戸の観光産業の発展に資するものにすること。
 - インクルーシブ教育の推進のために、ハード・ソフト両面から、受け入れ体制を構築すること。
 - 観光・健康・まちづくりの施策に、スポーツの観点を取り入れるため、各局連携を強化すること。
 - 神戸の伝統文化を守るため、だんじり記念館など、市民への意識啓発、子供たちへの教育の拠点を整備すること。
 - 集客力が期待できる物販やイベントを誘致できるようメリケンパークの利用環境を整備し、賑わいのあるウォーターフロントを実現すること。
- 他、合計22件

子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市会議員 吉田健吾事務所

〒657-0051 神戸市灘区八幡町2-8-7-4F TEL078-846-0233 FAX078-846-0234 阪急「六甲駅」南へ徒歩約3分

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
.....▶
yoshidakengo.jp



神戸市政報告

■編集・発行：自由民主党神戸市会議員団 〒657-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

神戸市会議員
灘区

吉田健吾
よし だ けん ご

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部（在学中は野球部で活躍）～日本生命保険相互会社～家業である株式会社コ－アイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。

●平成27年4月神戸市会議員選挙初当選●家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会、都賀だんじり保存会、神戸楽生会、灘納税協会青年部会、神戸青年会議所

平成29年度
神戸市
予算案



予算総額 輝ける未来創造都市の
実現に向けて
1兆8,097億8,500万円

（一般会計 7,812億2,800万円）
特別会計・企業会計 1兆284億8,500万円

一般会計の予算を
市民一人あたりにすると**51万円**になります。

福祉の充実に
20.6万円



産業の振興に
1.0万円



消防・救急に
1.2万円



教育・文化の振興に
8.4万円



住宅・まちづくりに
2.6万円



市会・区役所・市役所の
行政の運営などに
4.5万円



環境・衛生の向上に
4.4万円



道路・公園に
2.0万円



市債の返済に
5.9万円



EVENT INFORMATION

なだ桜まつり 第24回
4月1日(土)
10:00~15:00
都賀川公園・灘区民ホール
模擬店や地域の皆さんによるダンスや太鼓など、イベントが盛りだくさんです。
駐車場はありません。小雨決行、荒天中止

灘のだんじり祭り
5.14(日) 六甲道南公園他
今年も「灘のだんじり祭り」開催!!
五毛、八幡、篠原、都賀、上野地区のだんじりが隊列を組み、灘のまちを巡行します。
※雨天の場合は、5月28日(日)に延期。

ごあいさつ

MESSAGE

春暖の候、本格的な春がやってきました。皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成29年第1回定例会市会が開催され、平成29年度予算案に対する審議がされました。開港150年を迎え、新たな取り組みを本格的に始動させ、「若者に選ばれるまち」を目指した施策を積極的に展開する内容となっています。

私は予算特別委員会で教育委員会に対して局別審査をおこないました。本紙中面にて詳細をご報告いたしますので、是非ご一読をお願い致します。

これからも皆様の声をお伺いし、市政に反映させられるよう精一杯邁進して参る所存です。引き続きのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

神戸市会議員 吉田健吾

平成29年度当初予算6つのポイント



- ①待機児童の解消や出産・子育ての経済的負担の軽減、教員の多忙対策など、**子育てと教育環境の充実**。
- ②**健康**づくりや**高齢者**の認知症対策・地域包括ケアの推進、**障がい者**の社会参加の推進。
- ③若者の**定住・移住**の促進や地域課題に対応した**まちづくり**の推進。
- ④「陸・海・空」の**広域交通結節機能**の強化や都心の再生、**医療産業都市**の推進。
- ⑤雇用のミスマッチ解消や革新的起業・創業支援など、**神戸経済の活性化と雇用の創出**。
- ⑥事務事業の見直しや現場力の強化。県との連携などによる**市民サービスの向上**。



予算特別委員会において教育委員会に対し局別審査を行いました。

自由民主党神戸市会議員団 **吉田健吾**

1 インクルーシブ教育について

■質問/吉田健吾

現在、障害の有無にかかわらず、誰もが地域の学校で学べる「インクルーシブ教育」が推進されており、児童生徒の**受入環境の整備**を進める必要がある。また、インクルーシブ教育の推進には教職員に対する**研修体制の確立**が求められる。

■答弁/後藤教育施策担当部長

特別支援教育の充実を図ることを教職員研修方針重点項目のひとつとしている。初任者を対象に研修を実施、専門性向上を図るため、夏季休業中に「特別支援教育夏期集中セミナー」を実施、さらに、校園長研修、教頭研修において、「今後の特別支援教育における管理職の役割」などの研修を実施している。

■再質問①/吉田健吾

同じ教室にいる児童生徒たちも理解して協力していくことが、インクルーシブ教育の肝であると考えるが、**児童生徒に対する取組**などがあれば伺いたい。

■答弁/後藤教育施策担当部長

子供たちがお互いに助け合って、それぞれの可能性を伸ばしていくことについて、あらゆる機会を通して教育活動を行っている。障害者差別解消法の施行元年ということもあるので、そういった教育活動に注力してまいりたい。

2 スポーツの取組について

(1)他部局との連携

■質問/吉田健吾

スポーツを通じて「神戸」を打ち出すような新たな取組が必要であると考える。健康増進、観光振興、地域振興など、「まちづくり」にスポーツの観点を取り入れる必要があり、他部局との連携が重要である。どのような連携を行っているのか。

■答弁/雪村教育長

アメリカンフットボールの地域住民への普及と、その逆に選手・関係者・観客に地域の魅力を伝えるため、水道筋商店街において「王子プロジェクト」が発足した。

また、神戸マラソンでは、経済観光局や関係団体と連携し、ジャズの生演奏や、神戸スイーツ・グルメをはじめとした地場産品の提供など、地域の産業振興にも取り組んでいる。

さらに、2021年の関西ワールドマスタースゲームズは、一般参加型の国際大会として世界最大規模であり、滞在日数も長期間に渡るものである。神戸の街を楽しんでいただくスポーツツーリズム等にも、積極的に取り組んでまいりたい。

■再質問①/吉田健吾

健康寿命の延伸ということで、これは保健福祉局だけでも教育委員会だけでもできるものではないが、その観点は忘れてはならない。取り組みなど伺いたい。

■答弁/雪村教育長

保健福祉局と連携する余地は大変大きい。健康部や障害福祉部があるが、健康部については、区役所も巻き込んでいる。また、神戸市民福祉振興協会も巻き込んで、障害者スポーツの普及に取り組んでいる。今後とも、連携をはかっていきたい。

■要望/吉田健吾

教育委員会が主となって取り組んでいただくべきだと認識しているので、これからも積極的に連携していただきたい。

(2) 中学校の部活動

■質問/吉田健吾

小学生の時期に地域で盛んに取り組まれている種目について、中学校の部活動ではその種目がなく、校外のクラブ等で活動せざるを得ない場合が多々ある。教育上の意義もあることから、できる限り、学校内において**生徒の希望に即した部活動ができるよう**に、環境を整える必要があると考える。

■答弁/岡田スポーツ担当局長

教育委員会としては、独自の取組「拠点校部活動制度」を行っている。個人種目6種目、卓球・柔道・剣道・体操・相撲・バドミントンで始まり、陸上、水泳、そして集団種目となるバスケットボールを加えて行っている。部活動新設については、難しい問題ではあるが、どのような方策で解決していけるか、拠点校部活動制度の充実も含め、現場と一緒に研究を続けたい。

■再質問①/吉田健吾

拠点校で集団スポーツがバスケットボールだけとの答弁であった。また、経験者しか受入ができない状況であるのも課題かと思う。拠点校の制度等で生徒数を確保していく一方で、拡充されている**外部指導員の活用**等もうまく進めていくべきと思うが、今後の取組について伺いたい。

■答弁/岡田スポーツ担当局長

平成29年度より新たに拡充を行い、外部支援員という形で、活動ができる回数を増やし、部活動の指導、顧問の支援を行う制度を立ち上げたいと考えている。

■要望/吉田健吾

少子化が進んでいるなかで、現状の取組と新たな取組の狭間で課題が生じてくると思うが、しっかりと取り組んでいただきたいと思う。また、硬式テニスについても、スポーツを生涯続けていってもらふ観点からも注視していきたい。

スポーツを頑張っている子供たちにスポットライトが当たるような取り組みが広がることに期待している。

3 中学校給食について

■質問/吉田健吾

中学校給食については、一昨年10月に停止後、文教こども委員会等でかなりの時間を使って議論された。そして、様々な手続きを経て、この2月中旬をもって全校実施に至ったところであるが、現在の再開状況はどうか。

■答弁/雪村教育長

利用率については、3月現在、33.2%の状況であるが、そのうち1年生は45.7%、卒業間近の3年生が20.2%であるが、新年度の入学生からは多くの利用を見込んでおり、今後とも多くの生徒に利用してもらえるよう努めていきたい。

■再質問①/吉田健吾

中学校給食アンケートでは、「おかずが冷たい」、「好きなメニューが少ない」などの意見が多かったと聞いている。例えば、献立作成に料理研究家などから助言をいただき、冷たくても**美味しい、特色あるメニュー**を打ち出すことはできないか。

■答弁/馳川担当部長

教育委員会の管理栄養士が検食を行って、見た目や味などを確認し、より美味しい給食となるよう、献立への反映・事業者への指導を行っている。

ご指摘のように、今後、専門家からも冷たくても美味しい献立についてもご意見をいただきながら、特色あるメニューについても研究し、子供たちに喜ばれるメニューの開発に努めたい。

■再質問②/吉田健吾

教育委員会では、給食を通じた食育の推進を謳っているが、食育を通じて子供たちに伝えようとしていることは何か。具体的に食育についてどのように取り組んでいるのか。

■答弁/馳川担当部長

子供の学力や体力の基本には、望ましい生活習慣があり、健全な食生活が欠かせないものである。そのため、小学生の段階から、食に関する正しい知識を身に付け、自らの食生活を考え、望ましい食習慣の実践ができるよう取り組んでいる。

学校給食を通じて食事のマナー、伝統文化や行事等を学習し、子供達の発達段階に応じた指導を行っている。各クラスで給食を通じて食に関する話題を取り上げたり、家庭科の中で食育を取り上げるなど、今後とも食育の推進に努めてまいりたい。

■要望/吉田健吾

言葉で伝える、見てもらうだけでなく、何か体験をさせることが、子供にとっては大きな学びになるのではないかと思う。**実際に体験できるところまで踏み込んだ食育**を進めていただければと思う。

4 いじめ・不登校対策について

■質問/吉田健吾

「いじめはカッコ悪い」という**意識醸成**があれば、いじめをする人は減ると思うし、いじめの被害者に遭っても、それは恥



ずかしいことではない、という意識づけが出来ていれば、被害に遭った際に、SOSを出して、最悪の事態を免れるというような状況をつくることができると考える。このような環境づくりについて、具体的にどのように取り組んでいるのか。

■答弁/林教育次長

生徒会を中心に、いじめ防止に向けて子供たちの自主的な取組を推進してきた。また、各中学校区単位で、子供たち、保護者、地域住民等の参加による「いじめ防止小中地域会議」や、校区をこえて近隣校が協力して、「こうべっ子いじめ防止広域キャンペーン」の取り組みを実施している。

また、いじめに苦しむ児童生徒がためらいなくSOSを出せる雰囲気づくりが重要なことであると認識しており、スクールソーシャルワーカーと一緒に、子供たちの実態把握に努めている。

■再質問①/吉田健吾

家庭においても対処すべき問題であると考えられる。保護者に対する啓発も必要であると考えるがどうか。

■答弁/林教育次長

保護者、家庭に対する啓発も非常に大事である。学校の思いを伝えたり、保護者の思いを汲み取ったりするなかで、いじめ・不登校について保護者と児童生徒が一緒に考える授業や、保護者同士が話し合う機会を設けるように働きかけていきたい。

5 学校の過密化対策について

■質問/吉田健吾

現在、児童生徒の増加に伴って、小中学校の過密化が進み、仮設校舎で授業を行っている小中学校が30校あると聞いている。**長期間解消が見込めない場合は**、何らかの対応が必要であると考える。ついては、小中学校の過密化対策に、どのように取り組んでいくのか。

■答弁/岡本学校計画担当部長

普通教室として仮設校舎を利用しているケースについては、早期に解消すべく取組みを進めている。

成徳小学校についても、平成29年度の予算措置を行っており、最優先で対応していく。また、HAT神戸への小学校新設と、併せて周辺校との校区調整を進めている。

市街地において、学校新設用地を取得することは非常に困難であるが、今後も、各校の状況に応じたさまざまな対策を講じ、教育環境の改善に努めてまいりたい。

■要望/吉田健吾

仮設校舎を作るとグラウンドやその他の用地の部分が削られ、環境はマイナスになるのは明らかである。例えば、成徳小学校については、すぐ隣に公園があり、そういった場所を活用することで子供たちの教育環境は守っていけると感じている。

また、今後について、やはり、仮設校舎による対応は大変で、過密化状態の学校に子供を行かせたくないという保護者からの意見も聞くので、校区についても弾力的に検討していただきたいと思う。

自由民主党神戸市会議員団 市政報告

神戸市会議員 **灘区**

吉田健吾

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会

検索

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができます場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

目 市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の
続 交付を受けてください。会議の始まる1時
き 間前から先着順で受付します。